

## 学位論文の要旨

氏名 西原 一幸



## 1 論文題目

『字様の研究 唐代楷書字体規範の成立と展開』

## 2 論文の要旨

「学位論文の概要」で述べた①～③の発見・証明・解明の骨子を、本書「基本篇」によって、より具体的に列挙すれば次のようである。

## 『正名要録』の発見

唐代楷書字書（字様）の展開過程の解明

字様撰述が『顔氏字様』以前、隋代頃に存したことの証明

字様という典籍概念の発見

## 『時要字様』の発見

『新商略古今字様撮其時要并引正俗釋』の発見

唐代楷書字体規範の体系の解明

唐代楷書の辨似体系の発見

「S388字様」が『群書新定字様』であることの証明

唐代には社会全体に認知された「字体規範」が存在したことの証明

「正体」に次ぐ第二の字体「俗体」の発見

石経の真の目的及び字様との関わりの発見

開成石経の撰述者、および建立の推進者が、皇帝から勅命を受けた下級官吏、唐玄度（『九経字様』の選者）だったことの解明

なお応用編では唐代の異体字資料として名高い遼の僧行均撰『龍龕手鑑』（高麗大学蔵、韓国国宝）の字体規範が唐代のそれとはかけ離れていることも証明。

（注） 2,000 字程度にまとめること。